

平成18年12月18日

平成18年度中間損益状況について

丸善石油化学株式会社

第69期中間決算（平成18年4月1日から9月30日まで）概況

当中間期におけるわが国経済は、7－9月期のGDPが夏場の天候不順による個人消費の落ち込み等により、前期比微増にとどまったものの、アメリカや中国等への輸出の増加や設備投資の増加を背景に7四半期連続で前期を上回るなど、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。

石油化学業界におきましては、中国を中心としたアジア市場の旺盛な需要を背景に製品の出荷が増加し、各社のエチレンプラントは昨年に引き続き高稼働を維持したことにより、当中間期におけるわが国のエチレン生産量は前年同期比ほぼ横ばいの364万トンとなりました。一方、原料価格の高騰に伴い製品価格への転嫁も進みましたが、一部では転嫁の遅れもあり収益の圧迫要因となりました。

このような状況のもとで、当中間期は京葉エチレン株式会社が定修年であったため、製品販売数量は前年同期比13.5%減となりました。一方、原料高騰を反映して売上高は11.0%増の188,517百万円となりましたが、経常利益は4,335百万円減の7,887百万円となりました。

【中間決算】

(単位：百万円)

| | 平成18年度中間 (第69期中間) | 平成17年度中間 (第68期中間) | 対前年度中間比較 |
|---------|----------------------|----------------------|----------|
| 売上高 | 188,517 | 169,908 | 18,609 |
| 営業利益 | 6,865 | 11,707 | △4,842 |
| 経常利益 | 7,887 | 12,222 | △4,335 |
| 当期中間純利益 | 4,763 | 7,714 | △2,951 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨て表示。

【販売状況】

(単位：トン)

| | 平成18年度中間 (第69期中間) | 平成17年度中間 (第68期中間) | 対前年度中間比較 |
|-------|----------------------|----------------------|----------|
| エチレン | 338,100 | 380,400 | △42,300 |
| プロピレン | 285,700 | 299,100 | △13,400 |
| BTX | 351,200 | 424,100 | △72,900 |
| MEK | 83,600 | 84,500 | △900 |
| その他 | 871,900 | 1,044,700 | △172,800 |
| 合計 | 1,930,500 | 2,232,800 | △302,300 |

(注) 記載数量は、百トン未満を四捨五入表示。

以 上

* お問い合わせ先

丸善石油化学株式会社
人事総務部広報グループ
TEL：03-3552-9361
FAX：03-5566-8391